

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)
平成24年度 研修ニーズアンケート
教員・職員

●調査時期
平成24年5月29日～平成24年6月8日

●発送数 86 件

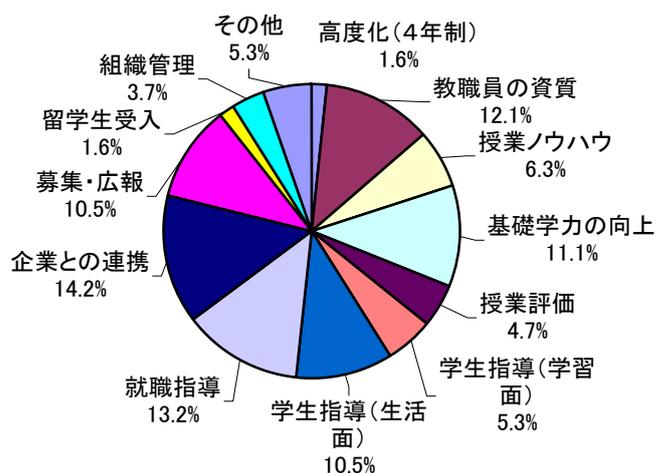
●回答数 56 件

●回答率 65.1 %

●協力校数 28 校

問2 担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているもの。

S.No	項目	回答	%
1	高度化(4年制)	3	1.6%
2	教職員の資質	23	12.1%
3	授業ノウハウ	12	6.3%
4	基礎学力の向上	21	11.1%
5	授業評価	9	4.7%
6	学生指導(学習面)	10	5.3%
7	学生指導(生活面)	20	10.5%
8	就職指導	25	13.2%
9	企業との連携	27	14.2%
10	募集・広報	20	10.5%
11	留学生受入	3	1.6%
12	組織管理	7	3.7%
13	その他	10	5.3%
	合計	190	100.0%



問2-13 その他

S.No	項目
1	帰属収入に対する人件費率の軽減、生産性の向上
2	通信制・単位制導入に伴うシステム作り
3	最新技術
4	単位制、通信制の導入
5	発達障害者軽度障害者に対する専門教育について
6	指導困難学生に対する指導法
7	教育のIT化
8	精神疾患の対応。ゲーム担当教員の不足、および
9	事務作業の効率化
10	クラスマネジメント

問3 問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
1	企業に学ぶ学校のための顧客管理セミナー	・顧客(入学希望者・学生・就職先企業)とは何か。 ・顧客管理のポイント ・顧客の満足度チェック方法	・顧客管理の基本理解 ・学校運営の実務に応用が利くレベル	広報課 学生課 就職課の中堅担当者	2日間	春～夏
2	通信制・単位制導入に伴うシステム構築について	設置基準に係わる諸問題点の抽出や通信制導入に伴うコンテンツ制作と運用プラットフォームの構築	行政からの説明と質問、また参加校間での情報交換等	実務者	2日間	7～8月頃
3	組織としての募集広報活動のあり方	自校単独での募集広報活動には限界があることから、組織だった専修学校としての募集活動を行うことが可能なかを討議できればと考えます。 (パネルディスカッション形式)	組織的に行うことと単独で行うことの長所短所が明確になることで各校の募集広報活動基準の一考になるのではと考えます	高等学校保護者 専修学校	1～2日間	秋 次年度以降の対応ができる
4	現場の教員向け	自主性を育む課題討論型授業の進め方 適したテーマの与え方やディスカッションの進め方をロールプレイングを通じて体感できる講習	この講習の結果がすぐに授業に応用できること	2名程度	1日～2日	8月
5	留学生を受け入れるにあたって	講話 入国管理官	想定される問題解決ができる。	留学生担当者	1日	12月
6	学生指導上のメンタルヘルスに関する知識習得	専門家による指導方法・学生指導上の注意等について事例を交え学ぶ (対発達障害者等)	学生・保護者とのスムーズな対応	教員 生活指導職員	1日	希望なし
7	①教職員の資質 ②基礎学力の向上 ③企業との連携	事例共有セミナー 現時点の課題は、知識を習得して解決を図る物では無く、多くの事例を知る事で、解決できると考えて居るため。	特になし	講師 テーマによって管理者	2～3日	随時
8	スマートフォンアプリ開発	iPhone、androidのアプリ開発	アプリ開発のノウハウを理解	教員	5日	夏期休暇中
9	通信制や単位制について	・通信制、単位制の動きがあるが、どういったニーズ、方向性、展開があるのか。 ・また授業ノウハウやコンテンツ作成についての手法・技法等		教員 職員	1日	夏
10	アクティブラーニングによる授業展開	教育効果を高める授業手法としてのアクティブラーニングの紹介と、他校での実施事例紹介	参加教員が、学校に戻りアクティブラーニング手法を広げることができる。	FD担当者	1～2日	8・9月 2・3月
11	こころの病の学生対応とコミュニケーション力の育成	・対応や成功事例の紹介 ・各校の意見交換 など		教員	2日	8月
12	産業界から求められている人材について	スキルを満たすための資格取得を含む技術修得		IT系現場教員	最長5日	夏・冬休み中
13	教員指導力アップ	学習指導、クラス経営、生徒指導等、また教員としての適格性や情緒的な不安定さなど、様々な課題をディスカッションしつつ、各個人の課題の克服に向け、好ましい人間関係を構築したり、幅広い知見を身に付けさせたりする総合的な研修プログラム	教員に共通して必要なものとして、コミュニケーション能力の向上と人間関係づくりがある。それらが学習指導を行う上での大きな課題になっていることが多く、その活用事例を多く聞くことで意識レベルをUPさせる。	一般教員	3日	
14	基礎学力不足を補う方法	専門学校生が苦手とする基礎学力向上のため効果のある事例の発表会		専門学校教員	1日	8月

15	単位制、通信制の導入について	単位制、通信制の導入に関するより実践的で具体的なノウハウを講義形式で研修	法的内容の再確認と具体的な実践方法がイメージ出来るようになる程度	校運営管理者及び教務員	1～2日間	8月～10月
16	ジョブカードキャリアコンサルタント	・ジョブカードの記入方法 ・キャリアコンサルタントの仕方 ・キャリアコンサルタントの資格取得他	キャリアコンサルタントの資格取得	全教員	1日	夏期
17	教材作成	各種デジタル機材を使った教材の作成法や効果的な題材	実践可能な物	教員	1日	夏
18	発達障害者軽度障害の専門教育について	・事例紹介(失敗事例も含む) ・グループディスカッション	授業での注意点や障害者が取組安環境	教員	2～3日	
19	情報収集の手法と分析整理について	WebサイトやSNSを利用して企業情報の収集人との対面方式での情報のやり取りについて体験的に学ぶ	就活に有効な情報となり学生がWeb上とのコミュニケーション力とバランス上身に付けられるようになる。	就職担当教員	2日	11・12月
20	教務事務の効率化	・他校の現状 ・効率を上げるための具体的な取り組み等			1日	7～8月
21	防災管理マニュアルづくり	専門学校での防災管理について		教員職員	1日	8月
22	今の学生のゆとり教育の就職について	就職する一歩道の専門学校、ゆとり教育で育った学生と企業が求める人材のギャップからどのように人として育てていかなければならないのか	他校での対策を知る等			
23	現場での学生指導対応の実際	学生の特徴の幅が広い場合(例えば発達障害学習意欲の極端に低い学生が複数クラスにいる時など)の対応についてのセミナー	基礎レベル	担当教員等	1～2日	夏期
24		ePUBやiBooks Author等の電子出版についての活用法や事例等				
25	人の話を素直に聞く話し合いが出来るようになる	カウンセリング方法	基礎的			
26	学生募集研修キャリア教育の現場を知る。	地域等により、また学校別でのキャリア教育(職業教育)の違い、分野による違い等	情報共有レベル	教員	1日	
27	新人教員研修	教員として学生と向き合う際に心得として必要な事を事例を支援して講習する。		新人	2日	7～8月
28	学生のソーシャルスキル向上と就職指導	入学段階の学生が徐々にソーシャルスキルを身に付けることができるプログラムの実践方法。	学生が就職活動時点における社会性、常識、マナーを身に付けることができる。	教員	2日	2月
29	募集	オープンキャンパスの充実現高校生の状況(志向、考え、トレンド等)	募集担当者だけでなく、全教職員が全力で募集に取り組むという意識が持てること	全職員	1日	夏休み
30	HTML5のスマートフォンでの活用について	HTML5を活用したスマートフォンアプリを開発している企業人の方に、実践を交えた研修をお願いしたい。	HTML5の基本は学んだ方が対象	専門学校教員、情報系担当	1～2日	平日でも良いが、できれば土曜日ありがたい
31	新任教育向けではない3～5年同期で学ぶ授業運営とその評価に関する研修	授業実施とそれに対する相互評価		新任以外5年に一度	1.5～2日	8月下旬

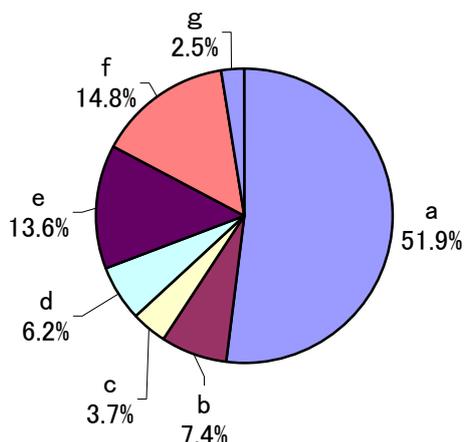
32	スピーチ力	・スピーチ力の向上 ・ロールプレイング形式？	就職に耐えるスピーチ力を学生に指導できる	教員		夏休み
33	ゲームプログラム入門	ゲームプログラム作成の入門編	簡単なゲームプログラムを作成できる	ゲーム担当 新入教員	3日間	夏期
34	最新情報研修	情報系の最先端技術の紹介と企業ニーズ上記内容を授業に展開する具体的の提案	企業が求人したレベル	教員	1日	9月
35	スマホ活用のすすめ(アプリ開発テクニック編)	Android・IOS上の体系的な開発手法(アプリケーション開発とOSバージョン注意点)			2日	
36	学生のモチベーションを上げる為の工夫について	学生のモチベーションをどのように進行させているのか事例を聞きたい発表・質疑対応等。会社見学やボランティア、学校行事等について		教員	半日または1日	
37	学生の生活態度コミュニケーション能力の向上	講義・グループディスカッション・事例等		教員	1～2日	夏休み
38	ファイリング	効率よくファイリングする技術	見つけやすさ 整理・整頓	事務職員	1日	
39	授業ノウハウ	講義		入社5年以上	1～2日	8月
40	子どもの行政	講師	子どもの行政の理解	教員	1日	夏
41	企業から見た実習受け入れの意見を聞く(企業との連携)	フリートーク	特に設定しない。	教員	1日	8月
42	教員インターンシップ	教員が企業で数日から一週間程度、勤務する。学生のインターンシップ同様に、教員が企業でシステム開発や業務の補助等を行う。	教員の現場感覚のブラッシュアップ	教員	3～5日	春
43	役立つパソコンスキル	事務作業に必要なパソコンスキルの講習。作業の効率化を目指す。実技形式	講習前よりも時間短縮できた	事務員	2日	5,6月
44	最新のIT技術の動向	セミナー	授業・カリキュラムへの導入事例	IT系教員	1日	3月
45	クラスマネジメント研修	クラスの管理、モチベーションUP ドロップアウト対策、 学生とのコミュニケーション	クラス担任が円滑に行えるより	担任を受け取っている教員	3日間	夏休み
46	授業評価	できれば給与等の評価につながるシステムの成功例				
47	募集広報セミナー	ITを活用した広報能力。 学生の情報をクラウド上で管理		広報	1日	8月
48	教職員の生産性向上セミナー	・社員と教職員の違い ・教職員の生産性を向上するための業務分析方法 ・生産性を上げるための就業規則、人事制度の改正ポイント	目に見える形で生産性が判るようにすること	理事長 校長等 学校経営層 人事・総務 管理職	2日間	通年
49	就職に勝ち残る	就職戦線で勝ち抜くための方策の意見交換。 講義形式ではなく、実際の事例を演じていただきながらのアドバイスを受けられればと考えます。	分野毎にポイントやレベルが異なるので、共通又は分野別のアドバイスをいただければと考えます。	専修学校	1日	春
50	現場の教員向け	学生に学習意欲を持たせるコミュニケーショントレーニング コーチングトレーナーによる実習形式の講習	この講習を結果がすぐに学生指導に活用できること	3名程度	1日～2日	8月

51	スマホアプリ開発演習	プログラミング実習 実際に開発されている技術者	アプリ開発ができるまで	情報系教員	2日	
52	留学生の対応法	留学生トラブルにおける適切な対応法を学ぶ	留学生トラブルの事前回避	教員 留学生担当 職員	1日	希望なし
53	クラウド活用セミナー	セールスフォースなどのクラウド型サービスの活用方法	クラウド活用の実態とニーズを理解	教員	2日	夏期休暇中
54	基礎学力向上に向けた授業について	効果的な授業法紹介		教員 職員	1日	夏
55	高等教育機関における教育評価改善活動について	教育目標達成のための体系的な仕組み作り。教育目標の達成度評価の方法。大学等の先進事例の紹介。	参加教員が学校に戻り教育のPDCA作りを行うための参考となるもの。	FD担当者	1日	8・9月 2・3月
56	学生募集における成功例	ディスカッション形式で成功事例を紹介する。質疑応答など		教員	1日	夏
57	企業連携の事例報告	企業連携を行っている大学・専門学校の内容と実績発表会		専門学校教員	1日	8月
58	Access活用	学生管理上のAccess有効利用	実践できるレベル	全職員	5日	夏期
59	教育現場の事例情報交換	他の学校で実際にはどのようなケースの事象がありどのような対応や結果となっているのか等の知るセミナー	基準レベル	現場教員など	1～2日	夏期
60	他校の学生指導の事例やノウハウ					
61	スマートフォン化で変わるビジネスモデルと開発技術・プロセス	スマートフォンビジネスの動向と、最新の開発技術とニーズについて。講義形式と実習形式。	教員が最新の技術動向を知り、業界のニーズを確認する。また、一般的な開発手法を学習する。	教員	2日	12月
62	学生対応(心の問題を抱えた学生)	一般的な話ではなく個別事例への対応の仕方	担任の負担が感じる事	全教職員	1日	夏休み
63	企業連携の導入事例と運営に関する研修	大学・専門学校で企業と連携して活動を行っている事例紹介とポイントを学ぶ		企業連携推進担当	1日	
64	ゲームプログラム中級	ゲームプログラム作成中級編 DirectXの活用	学生の卒研レベルのゲームプログラムの指導ができる。	ゲーム初級修了者	3日間	夏期
65	スマホ活用のすすめ(システム活用方法編)	情報システムとの連携(スマホ・タブレットの活用でビジネススタイルに変る)			2日	
66	労務講習	労務管理上の最低限の知識の習得	知識の習得	労務関係	2日	5,6月
67	授業ノウハウ	授業運用方法手法等				
68	ITタブレット等モバイル活用セミナー	事業へのタブレットの導入	教務	1日	8月	
69	学校事務職員の計画的な育成システムセミナー	・学校事務職員に求められるもの ・体系的な学校事務職員の育成手段	学校事務職員の必要な知識・スキルと育成計報の概要を理解すること	人事・総務担当者	1日間	春～夏

70	高校生から見た専門学校	高校生の目線による専門学校の印象、求めているもの、選択条件などを統計をもとにした具体的な情報を知る。	入学希望者とのマッチング	教員 広報担当職員	1日	前期
71	就職試験対策(筆記試験)	専門学校生の弱点である一般常識また英語問題の対応など	学生指導の指針を理解	教員	2日	夏期休暇中
72	留学生に関する注意	・留学生対応について特に留意すべきこと ・日本語能力の高低による授業理解度についての対策		教員 職員	1日	夏
73	専門学校における企業との専門教育の連携について	企業との連携による専門教育の先行事例の紹介。	参加教員が学校に戻り企業との連携による専門教育を推進するための参考となるもの。	専門教育担当者	1~2日	8・9月 2・3月
74	就職指導方法の研究会	各学校で行っている就職支援方法と実際の効果についての検証・発表会		専門学校教員	1日	8月
75	学生社会とのサポート法について学生の対応可能校とは	クラス内学内での学生社会学生への道徳や生活等、家族内でのかかわりの大きい問題への学校としての対応法セミナー	基準レベル	現場教員等	1~2日	夏期
76	小大及び成功する為の組織管理のあり方ノウハウ					
77	ゲームプログラム上級	スマートフォン、タブレット等のゲーム開発手法	携帯タイプのゲーム開発ができる。	ゲーム開発 中級者	3日間	夏期
78	スマホ活用のすすめ(情報デザインテクニック編)	情報デザインの観点からアプリケーション、操作性、デザインセンスABC(入門)Adobeソフト関連で			2日	
79	授業指導法	学力差の大きい学生群に対する効果的な指導方法について				
80	学生指導	精神的な問題を抱えた学生に対する教員の対応について				
81	ゲーム業界で働くためのゲーム教育	現場に対応できるカリキュラム教材とは				
82	就職指導	・効果的な自己分析の手法 ・面接(個人・集団)指導 特に業界別質問の具体的例等	・長所・短所の文章化と話し方指導 ・最近の質問事例や企業側の着眼点(ポイント)の絞り出し	・クラス担任 ・就職担当	1日~2日	8月上旬
83	基礎学力の向上就職指導企業との連携	事例発表及びディスカッション	事例を参考に効果的な指導法を学び教員間(学内)で共有する。	教員	1日	2月上旬

問4 実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等

S.No	項目	回答	%
1	夏休み期間中が良い	a	42 51.9%
2	学期中でも金曜又は月曜と土・日の組合わせ可	b	6 7.4%
3	土・日なら可能	c	3 3.7%
4	土・日は不可	d	5 6.2%
5	告知期間が長ければ調整可能	e	11 13.6%
6	新技術紹介など講演形式で半日程度のセミナーなら可能	f	12 14.8%
7	その他	g	2 2.5%
合計		81	100.0%

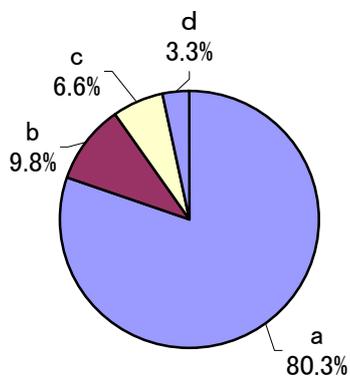


問4 その他

S.No	項目
1	時期的なものも考慮しますが、それ以上に研修会の テーマ 研修会対象者 等の条件をみて本学園に必要性を感じたものであれば、積極的に参加していきたいと考えます。
2	春休み中(2月~3月中旬)。

日程について

S.No	項目	回答	%
1	現状で良い	a	49 80.3%
2	初日は午前中からでも良い	b	6 9.8%
3	終了時間は遅めでも良い	c	4 6.6%
4	その他	d	2 3.3%
合計		61	100.0%



その他

S.No	項目
1	他域開催希望。
2	当日の移動の場合は午後2時以降スタートなら参加可能です。

問5 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1	国際教養大学	特色ある英語教育や教員雇用制度に関する情報収集	9月ごろ	2日ぐらい
2	通信制を導入している教育機関			
3	石狩データセンターおよび入居企業	施設設備について、入居企業とそれらの企業が求める人材像について	8月ごろ	5日ぐらい
4	スマートフォン製造メーカー	製造現場と今後の開発予定について	8月ごろ	1日ぐらい
5	東京 デジハリを見学	東京 デジハリを見学し、学生が併行して各課題を期限までに提出している指導方法と、学生の理解内容を実際に意見交換したい。		
6	福岡県の麻生情報ビジネス専門学校	福岡県の麻生情報ビジネス専門学校を見学し、就職に対する取り組みやゲーム業界との連携アプローチ等を勉強させていただきたい	8月ごろ	1日ぐらい
7		アドビシステムズ様主催の「PBL Mashup」が今年度でもあれば視察させて頂きたいです。		
8	国際教養大学	大学でありながら100%の就職率で大手企業ばかりなので		
9	和歌山県のりら創造芸術高等専修学校	立地・内容とも特徴ある現場の様子。		
10	京阪神の服飾系学校の見学	大手学校のカリキュラムに関する情報	10月ごろ	1日ぐらい
11		東京等都市の専門学校の工作室を見学し授業内容等について説明を受ける	7~8月ごろ	1日ぐらい
12		他の学校のオープンキャンパスや授業の見学、情報交換	時期・期間は問わない	
13	大規模専門学校	学生募集 オープンキャンパス		
14	全国展開の専門学校	学生指導		
15	金沢工業大学	学生が主体的に学ぶ取組、就職指導状況	いつでも	1日ぐらい
16	東京都の専門学校	カリキュラム・授業の仕方・学生達の様子	8月ごろ	1日ぐらい
17		ボランティア活動等社会貢献・地域活性化等に関わる活動をしている学校		1~2日ぐらい
18	スーパーコンピュータ「京」のある研究所		8月ごろ	1日ぐらい
19	福岡県	麻生学園の4年生過程を見学したい。	11月ごろ	1日ぐらい
20	イギリス	NVQの実態調査		
21		学校名はわかりませんが、当校と同じ規模の学校がどのような体制で運営をしているのか、見てみたいです。	6月ごろ	1,2日ぐらい

問6 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

S.No	問題・課題等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の学生生活で育む人間教育のあり方 ・授業料収入以外の収入確保 ・学生(教職員)のストレス耐性を向上させる取り組み方法
2	<p>現在ではありませんが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①精神的に弱い学生・生徒への対処 ②長期欠席をする学生・生徒への対応 ③校納金滞納者(本人および保護者)への対応 <p>は、年度や人数の多い少ないにかかわらず、学校運営の悩みかと考えます。著名な講師の対処策ではなく実例に基づいた意見交換ができ、結論は難しいと考えますが法律的にもその対応が「良し」とするような方向性をアドバイスいただければ幸いです。</p>
3	<p>学生の自主性を促し、学習意欲や就職意欲を高めるための講義のあり方</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・心の問題を抱えた学生が年々多くなってきている。教育のプロではあってもカウンセリングのプロではないところに 問題の先送り化が進み、問題解決できないでいるように考える。 ・授業を楽しく、分かりやすくするというレベルの解決策ではなく、集団行動ができない等の学生の医学的な解決策があれば教えていただきたい。
5	<p>高校生(専門学校入学希望者)の進路選択に関わる条件が多岐に渡っている昨今、専門学校としてどのような点を充実させれば学生の満足度を上げることができるのか、カテゴリー別に整理された情報を欲している。分野、学部、学科、あるいは資格、技術、実習設備、あるいはキャンパス環境、施設、あるいは就職、進学、または学費、奨学金などいろいろな判断材料があり、どの点も強化すべきである中、優先的に重点をおくべきものはどの点なのか一般的、平均的な志向を知りたい。また、大学との差異についても同様に高校生の意識を把握したいと考えている。</p>
6	<p>発達障害、および精神疾患のグレーゾーンに位置する学生の就業支援について</p>
7	<p>最近、メンタル的な病の学生が多い感じがします。また、非活動的で覇気を感じない学生も増えてきているため、就職活動でのマイナス要因になっているようです。</p>
9	<p>こころに問題を抱えた学生への対応</p>
10	<p>心に問題のある学生の対応</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の基礎学力不足の問題で入学前教育の必要性について ・魅力ある体験授業とは
12	<p>麻業意欲の向上を促すノウハウ</p>
13	<p>基礎能力の低い学生が増加している。なるべく分かりやすい授業の実施が求められている。</p>
14	<p>発達障害を持った学生への対応。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> ・学生はWebデザインの上で就活情報を各場に手に入れられるようになっているがそこから自分の言葉で実践的に就活にのぞむことを苦手とする。 ・得に情報を元に自分の言葉で表現できるようになるための考え方や具体的な項目を挙げて頂きたい。
16	<p>心の問題を抱えた学生に対して学校と家(保護者)との連携の具体的な事項。</p>
17	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内での学生間のわだかまりの空気への対応について。 ・能力差の大きいクラスでの授業の方法について

18	メンタル面の弱さが学習を困難にしている
19	学生募集(入学者数)及び悩み
20	心の問題を抱えた学生に対して、日常教職員が心かけるべき具体的な事例。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の低い学生指導と支援体制。 ・精神的問題を抱える学生への教育方法と支援体制。 ・ベテラン(10年以上勤務)教員の授業品質の改善方法と学生指導方法。 ・心を惹きつける授業。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集・オープンキャンパスの充実 ・心の問題を抱えた学生に対する担任の負担増 ・新設学科・コースの検討
23	学生募集に関する全て。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱えている学生や退学した学生の要因に関する全国的な とその指導対策方法。 ・大学進学のみを考えている進学校に対するアプローチ方法
25	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の問題を抱えた学生に対し、日常、教職員が心がけるべき具体的な事項。」です。 ・当校では退学する理由は、「金銭面」と「心の問題」がダントツです。
26	勉強や就職に対して自信がない生徒をどのようにして持ち上げていくか
27	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集のノウハウ ・教員や授業の質の向上
28	・学生の生活態度・コミュニケーション能力の向上等
29	<ul style="list-style-type: none"> ・理解格差のあるクラスでの授業 ・講義授業で理解力を向上させるテクニック
30	発達障害などの学生対応をどうするべきであるか？
31	情報処理技術者資格を取得しても、就職に至らない学生が増えてきている。IT系の専門学校とIT企業のつながりがうすい。
31	基礎学力の低い学生の対応